



2023年3月期 第2四半期

中期事業計画

株式会社KYORITSU

(証券コード：7795)

- 1 中期事業計画**
- 2 ESGへの取り組み**
- 3 2023年3月期 第2四半期 決算概要
(共立印刷株式会社分)**

1 中期事業計画

ホールディングス体制の狙い

経営環境

- 世界情勢による燃料費の
や原材料費の高騰
- 高まるESGへの関心
- 価値観の多様化、ニーズ
の細分化



対応

- 多角化経営
- 経営資源の有効活用
- ビッグデータ、ノウハウ
を活かしたオンデマンド
対応による市場開拓

2025年3月までに成長戦略投資30億円

設備投資 + M&A

KYORITSUの4つの事業領域

印刷事業



共立印刷

- カタログ
- チラシなど

暁印刷

- 書籍
- 雑誌

西川印刷

- カタログ
- チラシなど

BPO事業



共立印刷

- 個人情報、購買履歴を活用したDM、カタログ

西川印刷

- マーケティング情報を活用したPOP、DM

デジタル事業



暁NEXT

- デジタルコミック制作、自社作品
- 投稿サイト運営

SIC

- デジタル制作

環境事業



今野

- 生分解性フィルム
- 農業資材

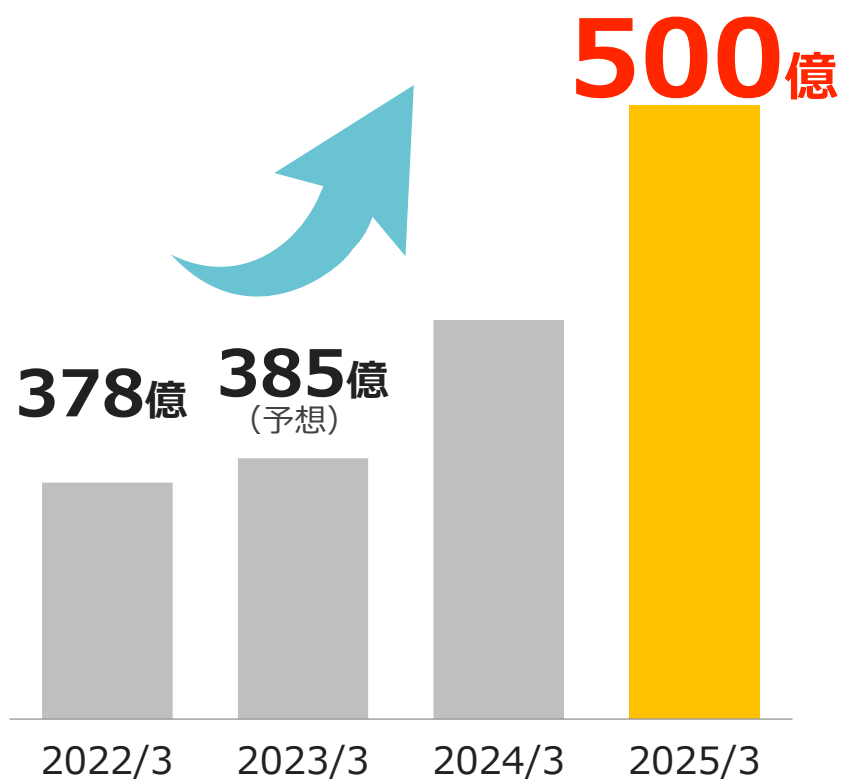
インターメディア・コミュニケーションズ

- 生分解性フィルムの製品販売
- ECサイト運営

4つの事業プラス設備投資・M & Aで事業領域を拡大

2025年3月期 売上高目標500億円

売上高目標



既存事業 330億 + 新規事業による価値創造 170億

BPO事業

ビッグデータを活用したDXの推進 等

デジタル事業

電子コミックやWEBサイト運営 等

環境事業

農業用マルチフィルムの売上拡大や大学との産学連携 等

2025年3月期 売上高目標500億円

	2022年 3月期	2023年 3月期 (予想)	2025年 3月期
売上高	378億	385億	500億
自己資本比率	37.2%	38.5%	40.0%
自己資本利益率 (ROE)	5.5%	7.0%	10.0%

再生可能エネルギーやDXに対応した工場

2025年3月期
売上高目標

330億円

2022年3月期
売上高実績328億円

- ✓ 品質重視による受注量確保
- ✓ 各社製造拠点の情報共有でDXを推進
- ✓ 再生可能エネルギーを活用し、製造コストを低減



共立印刷(株) 本庄工場



(株)暁印刷 埼玉工場



(株)西川印刷 植木工場

多様化するニーズに対応するサービス

2025年3月期
売上高目標

70億円

2022年3月期
売上高実績40億円

- ✓ 購買履歴や商品単価を反映したダイレクトメールの製造
- ✓ 全国展開する小売店向けにPOP管理や空間プロデュースを提案
- ✓ 個人情報情報を専門に取り扱う専用工場



顧客のニーズに合わせたDM



先方業務負担軽減

店舗オペレーション軽減

事務局運営

在庫管理+ 店舗配荷

POP管理、空間プロデュース



個人情報専門の情報出力センター

成長を続ける電子書籍市場で大きく飛躍

2025年3月期
売上高目標

50億円

2022年3月期
売上高実績5億円

- ✓ デジタルコミックの売上拡大
- ✓ 自社投稿WEBサイトの立ち上げによるIP作品数の拡大
- ✓ デジタル事業と製造業の融合



タテスクロールコミックス



(<https://www.spotwrite.site>)

投稿サイト「SPOT WRITE」

環境社会に貢献する生分解性プラスチック

2025年3月期
売上高目標

50億円

2022年3月期
売上高実績5億円

- ✓ 農業用生分解性マルチフィルムの販売を拡大
- ✓ 大学との産学連携
- ✓ マルチフィルム以外の取り組み



農業用生分解性マルチフィルム



インフレーション成形機

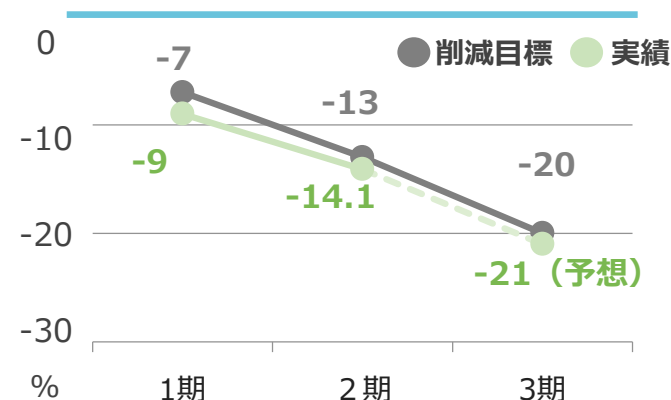
2 ESGへの取り組み

持続可能な社会の実現に向けて

環境

- CO2基準排出量の20%を削減
- 再生可能エネルギーの活用
(太陽光パネルの設置)
- 環境事業の拡大
(生分解性プラスチック製品)
- 3R (Reduce減らす、Reuse再利用、Recycle再度資源化) の徹底で廃棄物7割削減

温室効果ガス削減



再生可能エネルギーの活用



3万坪の工場に太陽光パネルを設置し、電力使用量の10%弱が再生可能エネルギーに

環境事業の拡大



微生物の働きにより水と二酸化炭素に分解される生分解性の農業用マルチフィルムを拡販

3Rで廃棄物を7割削減



工場から発生するものは、資源として利用できるものと廃棄物に分別し、工場の廃棄物を7割削減

持続可能な社会の実現に向けて

社会

- 多様性を受け入れ、ひとりひとりの能力やアイデアを尊重するダイバーシティへの取り組み
- 女性のキャリア支援、障がい者の雇用等を通じた労働環境の整備

労働者の雇用の安定及び職業生活の充実

正規雇用 労働者の 中途採用比率

2021年度	37.5%
2020年度	50.0%
2019年度	35.1%

(労働施策総合推進法に基づく中途採用比率の公表) 共立印刷(株)

KYORITSUグループでは年齢にかかわらず
必要な人材を確保

女性の活躍について

平等な評価で女性管理職・
女性リーダーの登用を行
い、女性の活躍を推進

営業や制作、
管理部門だけで
なく工場においても
多くの女性が活躍



働きやすい環境整備と教育・人材育成プログラム

育児・
介護支援
制度

各種研修
制度

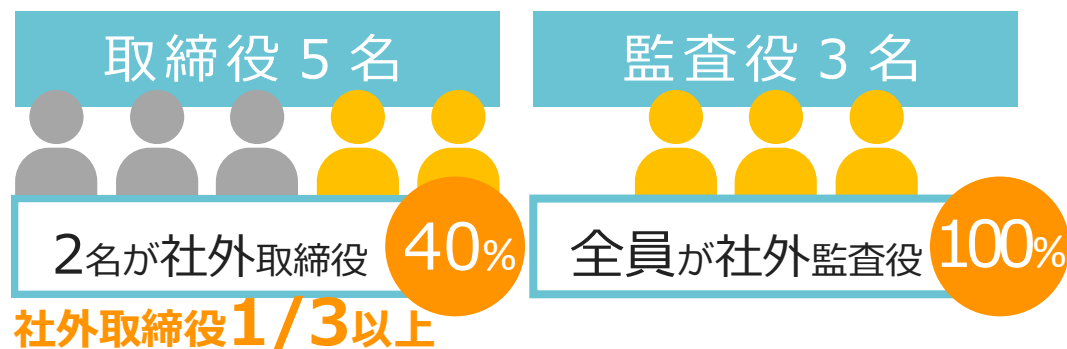
資格取得
支援

持続可能な社会の実現に向けて

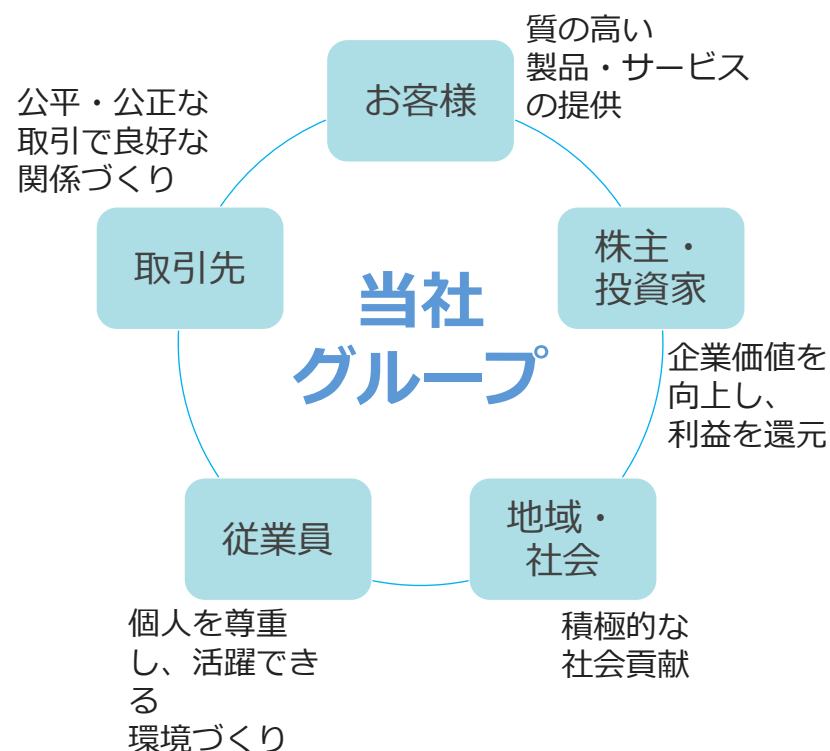
ガバナンス

- コーポレート・ガバナンスを強化・充実し、透明性の高い経営
- 取締役5名のうち2名が社外取締役で公平性を確保
- すべてのステークホルダーとの関係を強化

取締役・監査役における社外役員の割合



ステークホルダーとの関係強化



➡ **公平性・透明性の高い経営**

3 2023年3月期 第2四半期 決算概要 (共立印刷株式会社分)

連結業績ハイライト

※2023年3月期予想については、株式会社KYORITSUの予想数値となります。

売上高

18,935百万円

前年同期比9.8% 増

営業利益

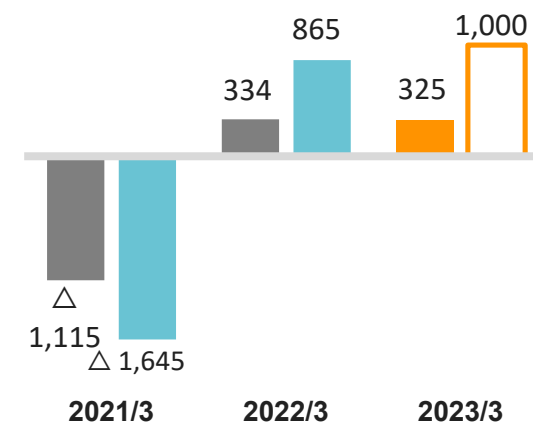
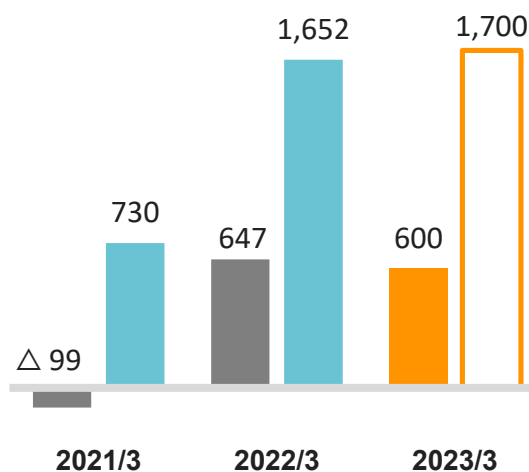
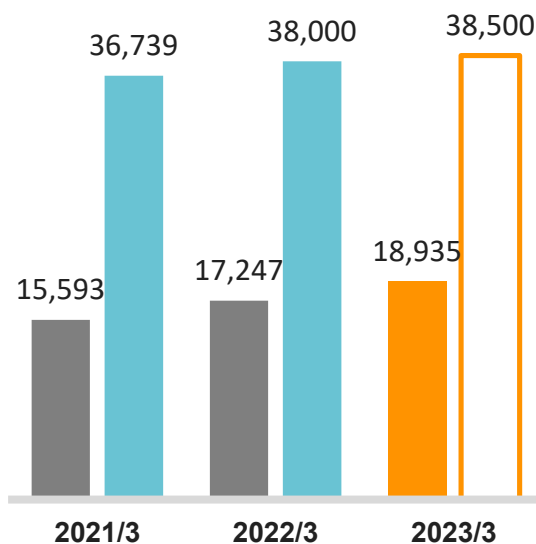
600百万円

前年同期比7.3% 減

親会社株主に帰属する 四半期純利益

325百万円

前年同期比2.7% 減



■ 2Q ■ 4Q ■ 当期2Q □ 予想 (百万円)

連結業績概要

※2023年3月期予想については、
株式会社KYORITSUの予想数値となります。

	2022/3 2Q	2023/3 2Q	前年 同期比	2023/3 4Q予想	進捗率
売上高(百万円)	17,247	18,935	9.8%	38,500	49.2%
営業利益(百万円)	647	600	-7.3%	1,700	35.3%
営業利益率	3.8%	3.2%		4.4%	
経常利益(百万円)	562	553	-1.6%	1,550	35.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	334	325	-2.7%	1,000	32.5%

株主還元

※2023年3月期予想については、
株式会社KYORITSUの予想数値となります。

	2022年3月期実績	2023年3月期予想
一株あたり 年間配当	4.00円	6.00円 内、持株会社化 記念配当 1.00円
配当性向	21.0%	26.1%
自己株式取得	—	298百万円
総還元性向	—	55.9%

■ 2023年3月期 自己株式取得実績 (取得期間2022年5月16日～2022年9月22日) ■

累計 2,000,000株 総額 298,206,900円

総還元性向(%) = (配当支払総額 + 自社株買い総額) / 純利益 × 100
発行済株式数 49,020,000 自己株式数 5,481,550

■ 配当方針 ■

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な資金を確保しつつ、株主の皆様に対する安定的な配当を行うことを基本方針としています。

会社概要

社名	株式会社KYORITSU
所在地	東京都板橋区清水町36番1号
事業内容	グループ経営戦略策定・管理並びにそれらに付帯する業務
資本金	33億7,474万円
決算期	3月31日
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：7795）
役員	代表取締役会長兼CEO 野田勝憲 代表取締役社長兼COO 景山豊 取締役CFO 田坂優英 社外取締役 藤本三千夫 社外取締役 亀井雅彦
URL	https://www.kyoritsu-hd.co.jp/



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。